

- ④ 明石大蔵町を中心とした地元との共同作業による町の文化資源の再発見と活用、および未来への継承

# 「明石大蔵町を中心とした地元との共同作業による町の文化資源の 再発見と活用、および未来への継承」 2011 年度報告

担当：寺嶋秀明、五十嵐真子、矢嶋 巖

本事業では明石市大蔵町を中心とした地域において、教員・学生が地域の方々や町内会・神社の氏子組織・研究サークルなどのグループとの協働作業をとおして、これからの大学の役割や地域と共同での学生の育成の実践研究を目的としている。今年度は地域社会との関係づくりや学生による調査研究の地域への還元特に注目し、活動を行った。内容は以下のとおりである。

## ① 明石大蔵町の文化資源の再発見

2011 年 10 月 16 日

矢嶋・桑島ゼミが合同で大蔵地区のフィールドワークを行なった。稲爪神社秋例大祭開催地域における日常生活状況を撮影記録し、例大祭実行関係者や地域住民への聞き取りを実施した。

11 月 6 日

明石市大蔵八幡町に位置する日本酒蔵元の明石酒類醸造株式会社に関して、学生（矢嶋ゼミ）による聞き取り調査をおこない、映像記録を実施した。これまで江井ヶ島方面の酒蔵の調査はおこなわれてきたが、大蔵町界隈の酒蔵についてはこれが初めての調査となる。一般に、酒蔵はその地域の文化センター的役割を果たしてきており、今後の調査の成果が期待される。

11 月 20 日

明石かいきょう塾が明石市大蔵町周辺で実施した歴史発見イベント「第 11 回明石かいきょう塾 明石の歴史を学ぶ—その 3」に矢嶋ゼミ 1 回生 12 名が調査補助として参加し、イベントの開催状況を調査、映像として記録するとともに、参加者や運営者にイベントの実施状況についての聞き取り調査を行なった。

2012 年 1 月 18 日

矢嶋ゼミと桑島ゼミと協働して大蔵地区での学生による研究成果（映像作品）を報告書として発行するための、データのとりまとめを行った。

この調査による成果は別冊 1 『大蔵谷なう。』として刊行した。

## ② 明石大蔵町の伝統行事での研究と協働

2002 年より継続して行ってきた、明石市大蔵本町の稲爪神社の秋祭り調査を今年度も引き続き行った。2011 年は 10 月 8・9 日の 2 日間の日程で挙行された。9 月に神社側との打ち合わせを行い、今年度の行事内容、タイムテーブルを確認し、学生の参加と連携の方向性について討議を行った。

---

### 10月8・9日

両日にわたって、明石市大蔵町界隈（大蔵天神町、大蔵本町、大蔵中町、大蔵町）において、稲爪神社秋例大祭が執り行われ、学生ともどもフィールドワークを実施した。参加した学生は、寺嶋ゼミ（1回生、2回生）、早木ゼミ（2回生）、五十嵐ゼミ（1回生、2回生）、矢嶋ゼミ（1回生）、総数60名近くにのぼった。各種の伝統演芸（早口流し、大蔵谷獅子舞）、神事（牛乗り神事、神幸行列）、イベント・出し物（子ども御輿、婦人会踊り）などの観察と関係者へのインタビュー、写真・ビデオによる記録映像の撮影をおこなった。また、運営関係者からの要請により、地域住民との協働の一環として、パレード実施状況について学生による観察報告をおこなうとともに、その映像記録を提出した。今後、学生が撮影した祭りの写真展を現地で開催する予定。

またこの間、稲爪神社を中心とした大蔵4町（大蔵天神町・大蔵本町・大蔵中町・大蔵町）の活性化について、地元の有志と意見交換をおこない、それぞれの立場からの協力について合意した。

### 2011年11月16日

10月に調査を行った稲爪神社秋祭り和大蔵地域での成果発表を写真展という形式で行うことについて、稲爪神社にて、菅谷宮司と五十嵐・矢嶋が打ち合わせを行った。会場として稲爪神社境内とすることを協議した。開催期間はなるべく多くの方々に観覧してもらうために、多くの参拝者を見込める12月末から1月の初恵比寿までの期間とした。特に三が日は拝殿前に行列ができるほどの人出があるので、その参道にパネルを設置し、そこに展示することとした。必要な資材等について菅谷宮司からアドバイスを受けた。

### 12月3日

稲爪神社にて、菅谷宮司、パネル枠を製作される板村氏と五十嵐が打ち合わせをし、パネルの設置場所、寸法、材料についての詳細を確認した。

また、当日は正月用のしめ縄づくりの準備が行われていたため、それを見学した。

### 12月6日

五十嵐、矢嶋、PD倉田でホームセンターダイキにて展示用資材を購入した。

### 12月27日

稲爪神社にて、写真展「大蔵谷なう」展示作業を行った。

寺嶋、五十嵐、矢嶋、桑島、PD倉田他学生9名が10時に神社に集合し、展示パネルの作成を社務所でおこない、その後屋外の展示用木枠へ固定し、13時に作業を終了した。

### 2012年1月13日

写真展撤収作業を11時より五十嵐・矢嶋・PD倉田で行った。菅谷宮司と次年度以降も同様な連携作業を行うことを確認した。12時に終了。

### 1月19日

秋祭り報告書の入稿した。

今年度の調査内容については、別冊2『2011年度稲爪神社秋祭り調査報告書』として刊行した。

1. 各種の市民団体との協働により、伝統的民俗文化、  
伝統的地域産業等をテーマに、地域資源の再発見チームの立ち上げ

### ③調査成果の地域への公開

- ・年末から年始にかけて稲爪神社境内にて写真展を実施した。

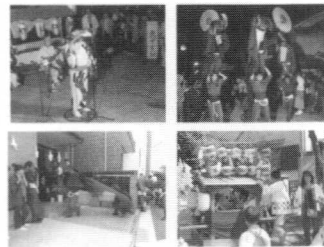


- ・2冊の報告書『大蔵谷なう。』『2011年度稲爪神社秋祭り報告書』を刊行した。



文化庁学芸員研修所研究員養成支援事業  
『大蔵谷なう。』と『2011年度稲爪神社秋祭り報告書』の連携・展開による実践的研究。

### 2011年度稲爪神社秋祭り 調査報告書



稲爪学園大学 地域研究センター 2012年2月発行